

子どもの移動経路／通学路等の安全対策箇所図

令和5年8月時点

(宮代小学校区)

【凡例】

- : 通学路(学校指定)
※ 中学校通学路を含む
- ① : 要対策箇所
※ 青字: 学校



① 登下校時間帯、御所野交差点から南進してくる車が多い。朝倉方面から登校してくる児童が増え、信号のない横断歩道を渡る車の数も多く危険である。



② 大雨が降ると道路側溝から水があふれ、側溝の蓋が浮き上がり危険である。



③ 不破高校の方から坂道坂道を降りてくる車や自転車のスピードが上がってくるため、出会い頭の事故の危険がある。



④ 民家のある細い道から車両の多い道を渡って登下校する。見通しが悪く、北側は退避する場所がない。東(洋ランセンター方面)から南宮大社方面に向かう車両も多く危険である。



⑥ 学校付近であり、道幅が狭いが、通る車もあるため、カラー舗装をお願いしたい。

⑤ 歩道がなく、危険である。(過年度工事済み部分からの延伸)また、この付近は交通量も多く、交差点西側の歩道設置部は縁石のみで危険である。

